

平成 27(2015)年 3 月

公益財団法人 国際仏教文化協会 平成 27 年度事業計画

公益財団法人 国際仏教文化協会

当協会は、海外で仏教、とりわけ大乘仏教思想に出遇った人々の中で、特に欧州地域では他力回向に徹底した親鸞思想に惹かれて親鸞思想の、さらに大乘思想の研究及び普及に向けて活動を展開している、その活動支援を主事業とする。

そこで、当協会定款第 3 条「大乘仏教の持つ現代的意義を究明し、欧州等の人々の研究に便宜を与え、東西文化の交流を図り、もって我が国の発展と国際平和に寄与することを目的とする」に基づき、「公益事業 1」として、欧州等における大乘仏教思想・大乘仏教文化の振興に対する助成およびシンポジウム、講演会の開催を行う。その趣旨は、欧州等における大乘仏教の思想、文化の振興に対する助成を通じ、これらの地域における大乘仏教思想・大乘仏教文化への理解を深め、日本古来の精神文化の柱である大乘仏教の振興に資するものとする。平成 26 (2014) 年度事業計画としては、具体的な事業を、次のように 2 小項目についてそれぞれの事業計画を立てる。

1. 公益目的事業 1 (振興事業) : 各末尾符号 (「(1)」等) は定款第 4 条規定の対応する事業項目 (号) を示す

(1) 公益目的事業 1 (1) : 研究助成事業 (大乘仏教の研究活動やその成果の出版等の費用、研究者の日本への留学費用等の助成によって振興を図る)

① 機関誌発行 : 事業の経過などを報告する機関誌『IABC NEWS』を発行、研究助成を啓蒙し、大乘仏教の思想・文化の普及に資する : [表 1] に機関誌発行の予算を付記する — (1)

② 仏教書印刷発行と普及 : 欧州等における、欧州語等による仏教書 (各グループの機関誌・啓蒙書等を含む) の印刷発行の発行助成と普及、並びに欧文の仏教書の編集発行 — (2)

[表 1] のように、各グループへの助成 (出版助成) を行う。

なお、欧文ジャーナル『Shin Buddhist』の編集発行、およびジャーナルおよび欧文等の仏教書の編集、発行には、理事会のもとに編集委員会を設置し、委員会において業務執行する (委員会構成は別紙 1(1)の通り)

③ 欧州等の仏教関係機関への物心両面の支援 — (3)

[表 1] のように、欧州等における各グループへの支援助成を行う。

関係機関への支援については、理事会のもとに、選考委員会を設置し、あらかじめ公募した助成申請を厳正に審査・選考し、適正な助成を執行するものとする (委員会構成は、別紙 1(2)の通り)。

〔表1〕公益目的事業1(振興事業)の(1)研究助成事業の明細：対応する符号①～③にて記述

②、③各グループへ助成： 対象サンガ等	代表者など	(ア)活動助成費	(イ)出版助成費	助成費合計額
ベルギー、アントワープ・サンガ	F. Martens, Antwerpen	450,000	150,000	600,000
ドイツ：シン・サンガ	M.Nottelmann, BGJ-D	550,000	150,000	700,000
オーストリア・サンガ	F. Fenzl, Salzburg	50,000	60,000	110,000
スイス：シン・サンガ	J. Ducor, Geneva	0	0	0
同 (妙順寺センター)	Marina Bezencon	0	0	0
英国：PLBFChomon House)	J. Pym	500,000	100,000	600,000
ルーマニア：他力道場サンガ	A. Cirlea, Craiova	400,000	0	400,000
アラスカ：白蓮華・サンガ	Diane E. Dunn, Alaska	130,000	70,000	200,000
オーストラリア・サンガ	J. Paraskevopoulos	0	50,000	50,000
NCC 宗教研究所	高塚郁男, 京都	300,000		300,000
助成予備費		400,000	100,000	500,000
助成合計		3,080,000	680,000	3,780,000
① 機関誌等の編集発行	IABC 編集委員会		600,000	
② ジャーナル等の編集発行	IABC 編集委員会		1,900,000	
編集発行合計				2,500,000

〔補注〕

- ②、③について、各サンガで会費などによってなるべく「自活」できるよう努力することを勧めることとする。その上で、仏教研究活動(会合、研究資料、成果発行など)について「助成」し、年度末に成果を求める。年度内の申請に対応できるよう予備費を置く。
- ② ジャーナル等の編集発行：図書刊行として、編集費等を含む。

(2) 公益目的事業1(2)：振興活動支援事業(大乘仏教の研究に関するセミナーやシンポジウムの開催に対する助成、研究者の日本への留学費用の助成によって振興を図る)

- ① **ヨーロッパ真宗会議開催の支援**：隔年開催のヨーロッパ真宗会議(大乘仏教の一つの極たる他力回向の真宗思想と大乘仏教の諸思想との対論によって大乘仏教の思想理解を深めあい一般に啓蒙する会議)は、前期9月初めに第17回を英国で開催、当期は次年(2016年)に第18回をベルギーで開催予定につき、その準備と現地での準備支援にあたる(準備費200,000円)。
- ② **報告と講演の会**：当協会の活動支援者や関心を持つ一般を対象に協会の活動を報告するとともに大乘仏教の思想、文化を啓蒙する目的で報告と講演の集いを開催する(原則として会費制とするが、会場費等を負担して開催する：開催費300,000円)。
- ③ **講師派遣**：ドイツ・デュッセルドルフの恵光ハウス日本文化センターで、毎年開催の仏教セミナーに日本から講師を派遣し、欧州等から集まった一般聴衆に大乘仏教思想を啓蒙普及する(諸費を含め、500,000円)。
- ④ **奨学助成**：1) 欧州等から来日して大乘仏教思想・文化を学ぼうとする者を招聘奨学生として、2) 本邦から欧州等に出て広く宗教学などを学び学際的な視野をもって大乘仏教の振興に寄与しようとする者を派遣留学生として、また3) 短期間のセミナー(大乘仏教思想等を研鑽するセミナー等)に、来日あるいは渡航して参加し、大乘仏教の理解を深め一般にも啓蒙、普及しようとするものを短期研修留学生として、それぞれ採用して助成する。理事会のもとに設置の審査委員会で採用の適切性を判定する。本年度は、前期に続き下記の留学生を採用、

年度途中での短期の留学等を予想して予備費を置く。

留学生：新作慶明（東京大学大学院博士後期課程在学中、インド学仏教学専攻）

『ブラサンナパダー』（『中論註浄明句論』）の写本研究、オーストリア科学アカデミーアジア文化・思想史研究所にて、Anne MacDonald 博士に師事、6 か月間の留学。奨学金：900,000 円+旅費

2. 協会運営

上記の公益事業を推進するための協会体制およびその運営を、前期同様に組織し推進する。

- (1) 役員会等：理事会、評議員会（決算、予算、事業報告、事業計画の件等の審議・決定）
- (2) 理事会のもとに審査委員会、編集委員会、実行委員会（別紙の通り）を設置して、業務推進にあたる。

以 上、 事業計画（了）